

かわからないのが問題。昼間のピークを伸ばさないよう需給調整契約をお願いしている。

Q 事業用と家庭用の消費電力

の割合は？企業の消費電力が大部分と思うので企業が節電すれば電気が足りるのでは。

今の説明は、だから原発を動かして下さいということなのか。プルサーマル問題の時にひびの存在を隠して安全と言っていた電力や国に不信感を持っている。原発に対する地元の安全や安心をもっと大事にして欲しい。

A (東電) 家庭用は3割、工場は3割、オフィスや商業施設などが4割。

■ 新人委員打ち合わせ・運営委員会を開催しました

第2回定例会において会の議論の進め方について意見や疑問が寄せられました。これを受けて6月20日に準備会に参加していない委員から感想や意見等をいただきました。

また、第2回定例会などで提案のあった運営委員会を6月28日に開催しました。

▼ 新人打ち合わせ概要

● 6月20日(金)午後6時30分～9時

● 柏崎原子力広報センター・研修室

● 委員9名出席、3名欠席

● 委員は推薦団体からの代表という意識をしっかりと持ち、会の趣旨も十分に理解。

● 委員の理解や考えが違うのでテーマは余り絞らない方が良いというのが大方の意見。

● タイムリーなテーマは必要であり、4号機について、国・事業者の住民説明会とは別に

住民の代表としてこの会での住民の目線に立った質疑・意見交換は必要。

● 説明者と委員の1対1のやりとりではなく、委員の意見交換により進めるべき。

● 会の成果(国への要望、市長・議員の発電所視察、西山住民説明など)があがったというが、個々の委員の意見や要望に込めるのではなく、会としてまとめた上でのものであるべき。

▼ 運営委員会概要

● 6月28日(土)午後5時～7時

● 柏崎原子力広報センター・研修室

● 出席委員 新野、今井、川口、武本、渡辺(欠)

● 事務局で選定した5人の委員からご意見を頂きました。

● 会の進め方

● 会の議論が反映されるとは限らないが、会で議論することとその議論が国や事業者に伝わることに意義がある。

● 説明者と委員のやりとりよりも委員同士の議論が中心となるべき。

● 定例会数回に1回運営委員会を開き、数回分のテーマを決め、会の反省もする。

● 定例会終了後、フリーの雑談をする時間を取る。

● 次回の定例会

● 4号機運転再開前に開催すべきという意見とそれにこだわらずに当初の9日で良いとの意見がありました。折角の委員からの要望でもあることから、3分の2以上の委員の

出席が可能なら、1週間早めて開催することとし、結果的に7月2日開催となりました。

地域の会では
ホームページで
活動の全てを
公開しています。

ホームページでは活動状況をタイムリーにお知らせすると共に、会議録、会議資料の全文を公開しており、資料をダウンロードすることもできます。

また、ホームページおよび地域の会に対するご意見・お問合わせについて、ホームページ上から受け付けています。

<http://www.tiikinokai.jp>

